

(11)特許出願公開番号

特開2002-24124

(P2002-24124A)

(43)公開日 平成14年1月25日(2002.1.25)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

識別記号

FI

テーマコート\* (参考)

G O 6 F 13/00

5 4 0

G O 6 F 13/00

540P 5B049

17/30

1 1 0

17/30

110F 5B075

170

170Z

17/60

146

17/60

146A

**3 2 6**

**3 2 6**

審査請求 未請求 請求項の数11 O L (全 11 頁)

(21)出願番号

特願2000-205774(P2000-205774)

(22) 出願日

平成12年7月6日(2000.7.6)

(71)出願人 500284373

ブルージャラフ株式会社

東京都渋谷区代々木2-26-2

(72)発明者 小林 孝至

東京都渋谷区代々木2-26-2 第2桑野

ビル5B ブルーグラフ 有限会社内

(74) 代理人 100103632

弁理士 窪田 英一郎 (外1名)

Fターム(参考) 5B049 AA05 BB11 CC02 CC32 DD01

DD05 EE01 EE05 FF03 FF04

FF09 GG04 GG06 GG07

5B075 KK07 KK13 KK33 KK37 ND03

ND20 ND23 ND36 PQ02 PQ32

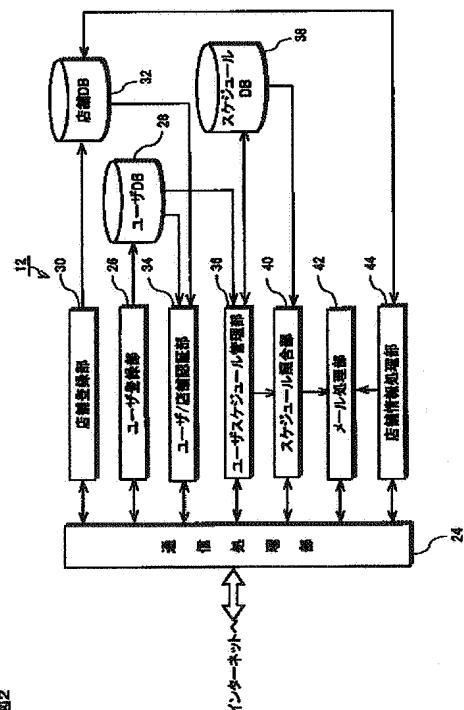
PR08 UU24 UU40

(54) 【発明の名称】 情報配信方法、および、情報配信管理サーバ

(57) 【要約】

【課題】 自己の予定にしたがった適切な情報を入手することが可能な情報配信システムを提供する。

【解決手段】 ユーザのスケジュールを管理して、予定に合致した情報を配信する制御サーバ１２は、ユーザ端末から当該ユーザの予定であって、関連する日時、場所および内容を含む予定を受理して、予定を当該ユーザのスケジュールに登録するユーザスケジュール管理部３６と、ユーザの要求にしたがって、他のユーザのスケジュールを検索し、ユーザの予定と合致する予定をもつ他のユーザを特定するスケジュール照合部４０と、他のユーザが存在することをユーザに通知するメール処理部４２とを備えている。ユーザの要求に、他のユーザとのメール送受信の希望が含まれている場合には、他のユーザが通信中であるか否かし、通信中であれば、ユーザ端末と、他のユーザのユーザ端末との間のメール送受信等を仲介する。



2

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ユーザ端末から当該ユーザの予定であって、関連する日時、場所および内容の少なくとも一つ以上を含む予定を受理するステップと、前記予定を当該ユーザのスケジュールに登録するステップと、ユーザの要求にしたがって、他のユーザのスケジュールを検索し、前記スケジュール中の予定と合致する予定をもつ他のユーザを特定するステップと前記他のユーザが存在することをユーザに通知するステップとを備えたことを特徴とする情報配信方法。

【請求項2】 さらに、ユーザの要求に、他のユーザとのメール送受信の希望が含まれている場合に、前記他のユーザが通信中であるか否かを判断するステップと、前記他のユーザが通信中である場合に、前記ユーザのユーザ端末と、前記他のユーザのユーザ端末との間のメール送受信を仲介するステップとを備えたことを特徴とする請求項1に記載の情報配信方法。

【請求項3】 さらに、ユーザの要求に、他のユーザとのチャットの希望が含まれている場合に、前記他のユーザが通信中であるか否かを判断するステップと、前記他のユーザが通信中である場合に、前記ユーザのユーザ端末と、前記他のユーザのユーザ端末との間のチャットを仲介するステップとを備えたことを特徴とする請求項1または2に記載の情報配信方法。

【請求項4】 前記ユーザによる予定を受理するのに応答して、他のユーザが検索されるように構成されたことを特徴とする請求項1ないし3の何れか一項に記載の情報配信方法。

【請求項5】 ユーザ端末から当該ユーザの予定であって、関連する日時、場所および内容の少なくとも一つ以上を含む予定を受理するステップと、前記予定を当該ユーザのスケジュールに登録するステップと、店舗の端末から当該店舗に関する情報を受理するステップと、前記店舗に関する情報を登録するステップと、前記ユーザ端末からのアクセスの際に、前記ユーザのスケジュールを検索して、何れかの予定に合致する店舗に関する情報を、前記アクセスにかかるコンテンツとともに前記ユーザ端末に伝達するステップとを備えたことを特徴とする情報配信方法。

【請求項6】 前記店舗に関する情報が、店舗におけるイベントの日時および内容を含むことを特徴とする請求項5に記載の情報配信方法。

【請求項7】 ユーザ端末から、ユーザの予定であって、関連する日時、場所および内容を含む予定を受理するステップと、

前記場所および内容に合致する店舗を、登録された店舗の情報から選択するステップと、前記選択された店舗の端末に、前記予定を示すメッセージを伝達するステップと、前記選択された店舗のうちの何れかからの返信メッセージを受理して、これを前記ユーザ端末に伝達するステップとを備えたことを特徴とする情報配信方法。

【請求項8】 ユーザのスケジュールを管理して、当該スケジュール中に含まれる予定に合致した情報を配信する情報配信制御サーバであって、ユーザ端末から当該ユーザの予定であって、関連する日時、場所および内容の少なくとも一つ以上を含む予定を受理して、当該予定を当該ユーザのスケジュールに登録するユーザスケジュール管理手段と、ユーザの要求にしたがって、他のユーザのスケジュールを検索し、前記スケジュール中の予定と合致する予定をもつ他のユーザを特定するスケジュール照合手段と、前記他のユーザが存在することをユーザに通知する通知手段とを備えたことを特徴とする情報配信制御サーバ。

【請求項9】 ユーザの要求に、他のユーザとのメール送受信の希望が含まれている場合に、前記他のユーザが通信中であるか否かを判断する判断手段と、前記他のユーザが通信中である場合に、前記ユーザのユーザ端末と、前記他のユーザのユーザ端末との間のメール送受信を仲介するメール送受信仲介手段とを備えたことを特徴とする請求項8に記載の情報配信制御サーバ。

【請求項10】 ユーザの要求に、他のユーザとのメール送受信の希望が含まれている場合に、前記他のユーザが通信中であるか否かを判断する判断手段と、前記他のユーザが通信中である場合に、前記ユーザのユーザ端末と、前記他のユーザのユーザ端末との間のチャットを仲介するチャット仲介手段とを備えたことを特徴とする請求項8または9に記載の情報配信制御サーバ。

【請求項11】 ユーザのスケジュールを管理して、当該スケジュール中に含まれる予定に合致した情報を配信する情報配信制御サーバであって、ユーザ端末から当該ユーザの予定であって、関連する日時、場所および内容の少なくとも一つ以上を含む予定を受理して、当該予定を当該ユーザのスケジュールに登録するユーザスケジュール管理手段と、店舗の端末から当該店舗に関する情報を受理して、当該店舗に関する情報を登録する店舗情報登録手段と、前記ユーザ端末からのアクセスの際に、前記ユーザのスケジュールを検索して、何れかの予定に合致する店舗に関する情報を、前記アクセスにかかるコンテンツとともに前記ユーザ端末に伝達する店舗情報選択手段とを備えたことを特徴とする情報配信制御サーバ。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の技術分野】 本発明は、インターネットを利用

した情報の授受、特に、人と人或いは人と店舗との間の情報を授受するシステムに関する。

#### 【0002】

【従来の技術】近年のインターネットの普及により、数多くの情報提供サイトが出現し、サイトの検索エンジンを利用して、店舗の情報をユーザに提供するサービスが実用化されている。その一方、趣味や嗜好を共通するようなユーザのコミュニティを形成したサイトを見出すことができる。このようなコミュニティサイトでは、趣味や嗜好についてBBSなどを利用して情報を交換したり、趣味や嗜好が共通する知人をつくったりすることができる。

#### 【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記サーチエンジンでは、ユーザが端末装置を操作して、自己の探したいカテゴリを指定し、提示されたリストから店舗を選択するように構成されているのが一般的である。しかしながら、上記サーチエンジンでは、単に店舗の情報がユーザに提示されるだけであり、自分が当該店舗に出向いたときに、何らかの理由で店舗が閉まっていたり、或いは、飲食店では空席が無いため利用できない場合が考えられる。また、コミュニティサイトを利用した場合に、ユーザが自己の予定について相手にコメントを求め、或いは、同行を求めることは可能であったが、そのためには、コミュニティにおいて自己の予定を他人に提示する必要があった。これは、プライバシー保護の面からのあまり望ましいものではない。

【0004】本発明は、自己の予定にしたがった適切な情報を入手することが可能な情報配信システムを提供することを目的とする。また、本発明は、自己の予定に合致する他のユーザとの情報交換を、ユーザのプライバシーを保護しつつ、つまり、セキュアな状況で実現できる情報配信システムを提供することを目的とする。

#### 【0005】

【課題を解決するための手段】本発明の目的は、ユーザ端末から当該ユーザの予定であって、関連する日時、場所および内容の少なくとも一つ以上を含む予定を受理するステップと、前記予定を当該ユーザのスケジュールに登録するステップと、ユーザの要求にしたがって、他のユーザのスケジュールを検索し、前記スケジュール中の予定と合致する予定をもつ他のユーザを特定するステップと、前記他のユーザが存在することをユーザに通知するステップとを備えたことを特徴とする情報配信方法により達成される。本発明によれば、ユーザの予定と日時、場所や内容が一致する他のユーザが存在することを知らせることが可能となる。

【0006】本発明の好ましい実施態様においては、さらに、ユーザの要求に、他のユーザとのメール送受信の希望が含まれている場合に、前記他のユーザが通信中であるか否かを判断するステップと、前記他のユーザが通

信中である場合に、前記ユーザのユーザ端末と、前記他のユーザのユーザ端末との間のメール送受信を仲介するステップとを備えている。また、好ましい実施態様においては、さらに、ユーザの要求に、他のユーザとのチャットの希望が含まれている場合に、前記他のユーザが通信中であるか否かを判断するステップと、前記他のユーザが通信中である場合に、前記ユーザのユーザ端末と、前記他のユーザのユーザ端末との間のチャットを仲介するステップとを備えている。

10 【0007】これら実施態様によれば、ユーザは、自分の予定に合致する予定をもっている他のユーザと通信をなすことができ、適当な情報交換が可能となる。また、メール送受信やチャットにおいては、仲介を設けているため、自己のメールアドレスなどを他のユーザに知らせる必要が無く、プライバシーの保護が可能となる。本発明のさらに好ましい実施態様においては、前記ユーザによる予定を受理するのに応答して、他のユーザが検索されるように構成されている。これにより、ユーザは予定の登録の際に、タイムリーに他のユーザの存否を確認することが可能となる。

20 【0008】また、本発明の別の実施態様において、情報配信方法は、ユーザ端末から当該ユーザの予定であって、関連する日時、場所および内容の少なくとも一つ以上を含む予定を受理するステップと、前記予定を当該ユーザのスケジュールに登録するステップと、店舗の端末から当該店舗に関する情報を受理するステップと、前記店舗に関する情報を登録するステップと、前記ユーザ端末からのアクセスの際に、前記ユーザのスケジュールを検索して、何れかの予定に合致する店舗に関する情報を、前記アクセスにかかるコンテンツとともに前記ユーザ端末に伝達するステップとを備えている。この実施態様によれば、ユーザは自己の予定にあった店舗の情報を自動的に入手することが可能となる。また、店舗の側から、当該店舗に来店する可能性のある顧客（ユーザ）に対してのみ情報を配信できるという利点がある。店舗に関する情報は、単なる店舗の紹介であっても良いし、店舗におけるイベントの日時および内容を含んでも良い。

40 【0009】また、本発明のさらに別な実施態様において、情報配信方法は、ユーザ端末から、ユーザの予定であって、関連する日時、場所および内容を含む予定を受理するステップと、前記場所および内容に合致する店舗を、登録された店舗の情報から選択するステップと、前記選択された店舗の端末に、前記予定を示すメッセージを伝達するステップと、前記選択された店舗のうちの何れかからの返信メッセージを受理して、これを前記ユーザ端末に伝達するステップとを備えている。この実施態様によれば、ユーザは自己の予定に合致する店舗の情報を略リアルタイムで入手することができる。返信メッセージに電話番号やEメールアドレスが添付されていれ

ば、直接店舗とのコンタクトをとることも可能となる。

【0010】また、本発明の目的は、ユーザのスケジュールを管理して、当該スケジュール中に含まれる予定に合致した情報を配信する情報配信制御サーバであって、ユーザ端末から当該ユーザの予定であって、関連する日時、場所および内容の少なくとも一つ以上を含む予定を受理して、当該予定を当該ユーザのスケジュールに登録するユーザスケジュール管理手段と、ユーザの要求にしたがって、他のユーザのスケジュールを検索し、前記スケジュール中の予定と合致する予定をもつ他のユーザを特定するスケジュール照合手段と、前記他のユーザが存在することをユーザに通知する通知手段とを備えたことを特徴とする情報配信制御サーバによっても達成される。

【0011】さらに、本発明の目的は、ユーザのスケジュールを管理して、当該スケジュール中に含まれる予定に合致した情報を配信する情報配信制御サーバであって、ユーザ端末から当該ユーザの予定であって、関連する日時、場所および内容の少なくとも一つ以上を含む予定を受理して、当該予定を当該ユーザのスケジュールに登録するユーザスケジュール管理手段と、店舗の端末から当該店舗に関する情報を受理して、当該店舗に関する情報を登録する店舗情報登録手段と、前記ユーザ端末からのアクセスの際に、前記ユーザのスケジュールを検索して、何れかの予定に合致する店舗に関する情報を、前記アクセスにかかるコンテンツとともに前記ユーザ端末に伝達する店舗情報選択手段とを備えたことを特徴とする情報配信制御サーバによっても達成される。

#### 【0012】

【発明の実施の形態】以下、添付図面を参照して、本発明の実施の形態につき説明を加える。図1は、本発明の実施の形態にかかる情報配信システムの概略構成を示すブロックダイアグラムである。図1に示すように、情報配信システム10においては、制御サーバ12がインターネット14に接続されている。インターネット14には、レストランをはじめ種々の店舗の店舗コンピュータ16-1、・・・、16-pや、一般ユーザの利用するユーザコンピュータ20-1、・・・、20-q、および、電話サービス会社のサーバ（電話サービスサーバ）18が接続されている。携帯電話やPDAなどの携帯端末22-1、・・・、22-nは、電話サービスサーバ18を介して、インターネット14にアクセスできるようになっている。携帯端末22は、ユーザが利用するユーザ携帯端末と、店舗側にて利用される店舗側携帯端末が存在する。本明細書において、これらを区別して説明すべき場合には、それぞれを、ユーザ携帯端末22、店舗側携帯端末22と称する。

【0013】このような情報配信システム10において、制御サーバ12は、ユーザコンピュータ20の間、ユーザコンピュータ20と携帯端末22との間、およ

び、ユーザコンピュータ20やユーザ携帯端末22と、店舗コンピュータ16や店舗側携帯端末22との間の情報の授受を制御できるようになっている。

【0014】図2は、制御サーバ12の構成を示すブロックダイアグラムである。図2に示すように、制御サーバ12は、当該制御サーバ12を介した情報の授受（情報提供サービス）を利用するためにユーザを登録するユーザ登録部26と、登録されたユーザに関する種々の情報を記憶するユーザデータベース（DB）28と、上記情報提供サービスを利用する店舗を登録する店舗登録部30と、登録された店舗に関する種々の情報を記憶する店舗DB32と、アクセスしたユーザや店舗を認証するユーザ／店舗認証部34と、ユーザのスケジュールの更新や参照などを実行するユーザスケジュール管理部36と、各ユーザのスケジュールを記憶するスケジュールDB38と、各ユーザのスケジュールを照合するスケジュール照合部40と、照合されたスケジュールなどにしたがってユーザに伝達すべきメールを作成するメール処理部42と、店舗からの情報に関する種々の処理を実行する店舗情報処理部44とを有している。

【0015】このように構成された情報配信システム10においては、制御サーバ12を介した通信により以下の事項が実現される。

(1) ユーザのスケジュール管理により、あるユーザの行動と合致する行動をとる他のユーザを見出して、当該他のユーザに関する情報を、上記ユーザに通知する。

(2) ユーザのスケジュール管理により、当該ユーザの行動に関連する広告をユーザに配信する。

(3) ユーザの要求に応じて、必要な店舗の情報をユーザに伝達する。

これらの機能を実現するのに先立って、まず、ユーザおよび店舗の登録がなされる。図3は、ユーザの登録処理手順を示すフローチャートである。これは、ユーザコンピュータ20と制御サーバ12との通信によっても可能であるし、ユーザ携帯端末22と制御サーバ12との通信によっても実現できる。そこで、この処理においては、ユーザ側の端末（ユーザコンピュータ20或いはユーザ携帯端末22）を単に「ユーザ端末」と称する。

【0016】まず、登録を希望するユーザが、ユーザ端末を操作することにより、（ユーザ携帯端末22の場合には電話サービスサーバ18および）インターネット14を介して制御サーバ12に登録要求が伝達され（ステップ301）、次いで、ユーザ自身が使用を希望するユーザIDおよびパスワードが制御サーバ12に伝達される（ステップ302）。制御サーバ12のユーザ登録部26は、受理したユーザIDおよびパスワードを参照して、既に使用されているものではないか否かを判断する（ステップ311）。ここでいずれかが既に使用されている場合には、再度ユーザID或いはパスワードの入力をユーザ端末に促す。したがって、この場合には、ステ

ップ302、311の処理が繰り返される。

【0017】ユーザIDおよびパスワードが決定されると、制御サーバ12のユーザ登録部26は登録フォームをユーザ端末に送信する(ステップ312)。この登録フォームには、ユーザの氏名、ユーザコンピュータ20のEメールアドレス、ユーザ携帯端末22のEメールアドレス、住所、電話番号、性別、生年月日、職業、趣味などが含まれる。これらのうち、ユーザの氏名、何れかのEメールアドレスなど必須のものと、職業や趣味など任意のものが定められている。

【0018】ユーザは、ユーザ端末に登録フォームが受理された(ステップ303)後に、ユーザ端末のキー、場合によってはマウスを操作して、必要な情報を入力する。記入済の登録フォームは、ユーザ端末から制御サーバ12に伝達される(ステップ304、313)。制御サーバ12のユーザ登録部26は、受理した記入済の登録フォームを参照して、ユーザにより記入された各種のデータを、ユーザIDと関連付けてユーザDB28に記憶する(ステップ314)。また、この際に、ユーザIDに関連付けられたスケジュール領域が、ユーザDB28中に確保される。

【0019】その後、ユーザ登録部26は、登録完了通知を作成して、これを、通信処理部24を介して、ユーザ端末に向けて送信する(ステップ315)。たとえば、ユーザ端末がユーザコンピュータ20であれば、登録完了を示す画像(コンテンツ)を送信すればよいし、ユーザ端末がユーザ携帯端末22であれば、登録完了を示すメッセージからなるメールを送信すればよい。ユーザ端末においては、送信された登録完了通知を受理すると、これを表示装置(図示せず)の画面上に表示し、登録の完了をユーザに知らせる(ステップ315)。これにより、ユーザの登録処理が終了する。

【0020】また、本実施の形態においては、店舗についても店舗側コンピュータ16或いは店舗側携帯端末22のいずれかから、店舗等の登録ができるようになっている。この場合の手順も、ユーザ端末のかわりに、店舗側コンピュータ16或いは店舗側携帯端末22になる点を除くと略同様である。なお、店舗の登録フォームには店舗の名称、住所、業種、電話番号、Eメールアドレスなどを記入するようになっている。また、地図画像のURLや店舗までの経路を示すテキストを添付できるようにしても良い。さらに、店舗において取り扱う商品やサービスに関する情報を登録することもできる。たとえば、洋服店や運動具店などにおける商品(ワンピース、Tシャツや、ゴルフクラブ、ボディボードなど)や、旅行代理店におけるサービス(商品)(パッケージツアーなど)に関する情報をと黒くできる。また、登録フォームに記入された各種データは、店舗登録部30により店舗DB32に記憶される。

【0021】次に、ユーザのスケジュールに関する処理

について説明を加える。図4は、ユーザ端末によるスケジュール情報の入力/更新の手順の一例を示すフローチャートである。まず、ユーザ端末は、制御サーバ12のスケジュールにアクセスする(ステップ401)。ここで、ユーザ端末からは制御サーバ12に対して、ユーザIDおよびパスワードが添付される。制御サーバ12のユーザ/店舗認証部34は、受理したユーザIDおよびパスワードを、ユーザDB28のデータを参照して認証し(ステップ411)、当該ユーザのスケジュールをスケジュールDB38から探し出して、当該ユーザのスケジュールのデータを、通信処理部24を介してユーザ端末に送信する(ステップ412)。ユーザ端末は、スケジュールのデータを受理すると、これを表示装置の画面上に表示する(ステップ402)。図5は、表示されたスケジュール表の一例である。画面501の中央/右欄502には、カレンダーが表示され、日にちごとに設定された予定が示されるようになっている。また、右欄503には、当日のより詳細なスケジュールが表示される。これは、カレンダー中の応答日(符号504)に示される情報をより詳細に示したものであることが理解できよう。

【0022】ユーザが特定の日時の自己の予定を入力する場合には、所定のコマンドを入力すると、図6に示すようなウィンドウが開かれる。たとえば、図6に示すように、このウィンドウにおいては、開始日時および終了日時、予定の内容、場所、その他のメモなどを選択或いは記入することができる。予定の内容ではカテゴリ、および、より詳細な情報の双方を入力できるようになっている。カテゴリでは、「飲食」、「ショッピング」、「スポーツ」、「レジャー」、「生活(ライフ)」、「仕事」など、内容を大まかに捉えたものが含まれ、これらのそれぞれに、詳細な情報が含まれるようになっている。たとえば、「飲食」には、「ごはん」、「飲み」、「お茶」、「パーティ」など、「飲食」というカテゴリをより再分類したものが設定されている。また、右欄601には、後述する他のユーザの検索に利用する種々のオプションを通知するボタン(符号602~604)が設けられている。ユーザがウィンドウを参照して、項目を入力して登録ボタン605を押すと、ユーザ端末から制御サーバ12に、ウィンドウに入力されたデータが伝達される(ステップ403、413)。

【0023】制御サーバ12のユーザスケジュール管理部36は、受理したデータを、スケジュールDB38の当該ユーザIDに関連する領域に記憶する。これによりスケジュールDB38が更新される(ステップ414)。次いで、ユーザスケジュール管理部36は、更新されたスケジュールのデータを、通信処理部24を介して、ユーザ端末に伝達する(ステップ415)。これにより、ユーザ端末の表示装置(図示せず)の画面上には、新たに追加された予定が、カレンダー中などに表示

される。

【0024】上記新たな予定を登録する際に、オプションボタンがオンされた場合につき説明を加える。図6に示すように、本実施の形態においては、以下に述べるような、3種類のオプションが用意されている。

(a) 自己が新たに登録した予定と、場所や内容が一致しないし類似する他のユーザを検索し、そのようなユーザが存在するか否かを提示する(符号601参照)。

(b) 他のユーザを検索した上で、当該他のユーザとのメール送受信を可能にする(符号602参照)。

(c) 他のユーザを検索した上で、当該他のユーザとのチャットを可能にする(符号603参照)。

【0025】図7および図8は、上記何れかのオプションボタンがオンされていた場合の処理を示すフローチャートである。ユーザ端末においてオプションボタン602~604のいずれかがチェックされ、かつ、他の項目(開始日時、終了日時、内容等)が記入され(ステップ701、702)、ユーザが登録ボタン605をオンすると、ユーザ端末から制御サーバ12に、ユーザにより記入されたデータが伝達される(ステップ711)。制御サーバのユーザスケジュール管理部36が、図4のステップ411~415の処理を実行する一方、スケジュール照合部40が、オプションおよび入力されたユーザの予定を解析する(ステップ712)。

【0026】次いで、スケジュール照合部40は、スケジュールDB38を検索して、同一のオプションを選択し、かつ、略同じ時間に略同じ目的(内容)で同じ場所にいる予定を、スケジュールに登録しているような他のユーザを見つけ出す(ステップ713)。スケジュール照合部40による検索結果は、ユーザ端末に伝達され(ステップ715)、ユーザ端末の表示装置の画面上に表示される(ステップ704)。

【0027】上記(a)に示したオプション(符号602参照)が選択されていた場合には、ステップ801にてノー(No)と判断され、ユーザ端末等における処理は終了する。その一方、(b)或いは(c)にて示したオプション(符号603、604参照)が選択されていた場合には、他のユーザの通信状況の調査依頼がユーザ端末から制御サーバ12に伝達され(ステップ802、811参照)、制御サーバ12の通信処理部24は、検索された他のサーバが制御サーバ12を介した通信を行なっているか否かを判断する(ステップ812、813)。なお、どのようなオプションが選択されたかは、図7のステップ703、711に示すように、ユーザ端末から制御サーバ12に伝達されているため、ステップ802、811に示すように、他のユーザの通信状況の調査依頼の授受を省略できることは言うまでもない。

【0028】上記他のユーザが通信中ではない場合(ステップ812でノー(No))には、他のユーザが通信中ではない(非通信)ことを示すデータがユーザ端末に伝達さ

れる(ステップ814、803)。その一方、上記他のユーザが通信中である場合(ステップ812でイエス(Yes))には、他のユーザが通信中であることを示すデータが、ユーザ端末に伝達される(ステップ815、804参照)。その後、選択されていたオプションにしたがって、当該他のユーザとの間で、制御サーバ12を介させた形態のメール或いはチャットが開始される(ステップ805、816)。このメール或いはチャットでは、ユーザ端末と、上記検索により見出された他のユーザ端末との間で、直接メールなどのデータの授受が行なわれるのではなく、一方のユーザ端末から、いったん制御サーバ12のメール処理部42にデータが受け入れられ、メール処理部42から通信処理部24を経て他のユーザ端末にデータが転送されるように構成している。これにより、制御サーバ12によっては、一方のユーザのメールアドレス等を、他方のユーザに知らせることなく、当該ユーザ間の情報の授受を可能にしている。

【0029】このように、本実施の形態によれば、オプションを設定しておくことで、ユーザが、日時、場所および内容(目的)を含む予定を入力すると、当該予定に略合致する予定がある他のユーザを検索し、当該ユーザとのメール通信やチャットができる。したがって、ユーザは、所望のように予定の近い他のユーザと連絡を取り情報交換をすることが可能となる。

【0030】また、本実施の形態においては、ユーザが制御サーバ12にアクセスして、たとえば、予定を入力し、或いは、他のユーザとの間でメール通信等を行なう際に、当該ユーザのスケジュールに応じた広告配信が可能となっている。ここでは、(a)上述した店舗の登録において店舗DB32に記憶された情報に基づく広告の配信と、(b)登録した店舗に特定のイベントがある場合に、このような特定の情報に基づく広告の配信とが可能となっている。後者においても、店舗DB32にイベントに関するデータが登録されるため、広告の特定および配信の処理(図9(b)参照)は、両者で異ならない。

【0031】図9(a)は、登録した店舗に特定のイベントがある場合に、そのようなイベントを登録する処理を示すフローチャートである。このイベントの登録は、店舗側コンピュータ16でも店舗側携帯端末22でも実行することができる。以下、この処理を実行する店舗側コンピュータ16或いは店舗側携帯端末22を店舗側端末と称する。

【0032】店舗側のオペレータは、店舗側端末を操作して、制御サーバ12にアクセスし、イベントの入力要求を店舗側端末から制御サーバ12に伝達する(ステップ901)。制御サーバ12のユーザ/店舗認証部34は、入力要求に添付された店舗IDおよびパスワードを参照して、店舗を認証する。次いで、店舗側端末に入力されたイベント情報が制御サーバ12に伝達される(ス

トップ902、912)。このイベント情報には、日時、イベント内容が含まれる。たとえば、「\*月\*日\*から\*月\*日まで、全品10パーセントオフのバーゲン」などがイベント情報たり得る。このようにして制御サーバ12に伝達されたイベント情報は、店舗情報処理部44により、店舗IDと関連付けて店舗DB32に記憶される(ステップ913)。

【0033】ユーザ端末によるアクセスおよび広告の配信について図9(b)を参照して説明する。ユーザ端末から制御サーバ12にアクセス要求があると(ステップ921)、制御サーバ12のユーザ/店舗認証部34は、アクセス要求に添付されたユーザIDおよびパスワードを参照してユーザを認証する(ステップ931)。次いで、ユーザIDに基づき、このユーザのスケジュールをスケジュールDB38から取り出し、当該ユーザの現在或いは今後の予定がどうなっているかが特定される(ステップ932)。次いで、当該ユーザの何れかの予定に含まれる日時、場所および内容と、登録された店舗情報、或いは、店舗のイベント情報が合致すると、この店舗の情報および/またはイベント情報を含むバナーが、アクセス要求のあったコンテンツに貼り付けられる(ステップ933、934)。上記バナーは、登録された店舗の情報だけではなく、画像や地図へのリンクであっても良い。

【0034】上記バナーが貼り付けられたコンテンツは、通信処理部24を介してユーザ端末に伝達され(ステップ935)、ユーザ端末の表示装置の画面上に当該コンテンツが表示される(ステップ922)。このようにして、ユーザのスケジュールに合致した情報、つまり、ユーザの予定に含まれる場所や内容(目的)に合致した店舗の情報や、ユーザの予定の含まれる日時、場所および内容(目的)に合致した店舗のイベントの情報を、ユーザに伝達することが可能となる。

【0035】次に、ユーザの要求に応じた店舗の情報提供について説明する。上述した実施の形態におけるスケジュールを参照した他のユーザの検索や、店舗情報の提供は、将来におけるユーザの予定に応えたものであった。無論、ユーザが予定の行動(たとえば、ある場所でのショッピング)をとっている際に、当該行動を自己のスケジュールに登録すれば、リアルタイムでの他のユーザや店舗に関する情報を受けることはできる。以下の店舗の情報提供では、ユーザの現時点或いは近い将来の行動に対して、さらにリアルタイムな店舗に関する情報の提供を受けることができる点で有用である。

【0036】図10および図12は、店舗に関する情報提供の手順を示すフローチャートである。図10に示すように、まず、店舗情報の検索要求がユーザ端末から制御サーバ12に伝達されると(ステップ1001)、制御サーバ12のユーザ/店舗認証部34が、検索要求に添付されたユーザIDおよびパスワードを参照してユー

ザを認証する(ステップ1011)。その後、検索フォームが制御サーバ12からユーザ端末に伝達される(ステップ1012、1002)。図11(a)は、検索フォームの一例を示す図である。検索フォーム1101には、検索したいカテゴリ、エリア、日時のほか、イベントを入力することができる。たとえば、日時では、現在(いま)のほか近い将来(たとえば、数時間後程度)の時刻などを指定することができる。また、コメント欄にはユーザが所望のコメントを入力できる。

10 【0037】このようにしてユーザによる記入済フォームは、制御サーバ12に伝達される(ステップ1003、1013)。制御サーバ42のメール処理部42は、上記記入内容を解析して、店舗情報処理部44に、上記メールに示すカテゴリ、エリアに合致する店舗の検索を依頼する(ステップ1014)。店舗情報処理部は、依頼に応答して、店舗DB32を検索し、上記カテゴリやエリアに合致する店舗の情報を見出して、これをメール処理部42に伝達する(ステップ1015)。メール処理部42は、ユーザからの記入済フォームに基づくメールデータを作成し(ステップ1016)、通信処理部24を介して、メールデータを検索された店舗の店舗側端末に送信する(ステップ1017)。このメールデータには、必要であれば返信用のフォームが添付される。たとえば、店舗側コンピュータ16がインターネットに常時接続されている或いは頻繁に自己のメールボックスに新着メールの確認をするような構成がとられていれば、店舗側端末としてコンピュータ16を利用しても良い。上記以外の場合には、店舗側端末として携帯端末22を利用するのが望ましい。

30 【0038】メールデータを受理した店舗側端末において、店舗側のオペレータは、メールを参照して、自分の店舗がユーザの求める条件を満たせる場合には、返信フォームに必要な情報を入力することができる。図11(b)は、返信フォームの一例を示す図である。たとえば、あるエリアのレストランをユーザが探していた場合に、空席のあるレストランは、返信フォーム1102に、空席があるということや電話を待っていることなど必要な情報を記入して、制御サーバ12に送信すればよい。

40 【0039】図12に示すように、店舗側端末から制御サーバ12にメッセージ(記入済返信フォーム)が伝達されると、当該メッセージは、制御サーバ12からユーザ端末に転送される(ステップ1212)。したがって、ユーザは、店舗からのメッセージを参照することが可能となる。これにより、ユーザは現時点或いは近い将来に自分が出かけたい場所を確保したり、その情報入手することが可能となる。その一方、店舗側においても、顧客を確保したいときに、条件が合致するユーザに対して情報を提供することが可能となる。

50 【0040】本発明は、以上の実施の形態に限定される

ことなく、特許請求の範囲に記載された発明の範囲内で、種々の変更が可能であり、それらも本発明の範囲内に包含されるものであることは言うまでもない。たとえば、スケジュールの登録内容は前記実施の形態に限定されるものではない。また、あるユーザと予定の合致する他のユーザや、情報を配信すべき店舗を見出す際に、全ての条件が完全に一致する場合だけでなく、一致度が所定の値より大きいような、他のユーザや店舗を略条件が一致したと判断して、これら他の店舗やユーザの情報を、ユーザに伝達するように構成しても良い。

【0041】また、前記実施の形態においては、ユーザが自己の予定を登録する際に、当該予定に合致する予定を有する他のユーザを検索するように構成されているがこのような構成に限定されるものではない。たとえば、ユーザがスケジュール中の予定を指定して、上述した3つのオプションの何れかを選択し、当該予定および選択されたオプションを示す情報を制御サーバが受理して、他のユーザの検索を開始するように構成しても良い。なお、本明細書において、一つの手段の機能が、二つ以上の物理的手段により実現されても、若しくは、二つ以上の手段の機能が、一つの物理的手段により実現されてもよい。

#### 【0042】

【発明の効果】本発明によれば、携帯端末によるアクセスの際に、ユーザの嗜好に合致した広告を配信するための手法を提供することが可能となる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】 図1は、本発明の実施の形態にかかる情報配信システムの概略構成を示すブロックダイアグラムである。

【図2】 図2は、本実施の形態にかかる制御サーバの構成を示すブロックダイアグラムである。

【図3】 図3は、本実施の形態にかかるユーザの登録処理手順を示すフローチャートである。

【図4】 図4は、本実施の形態において、ユーザ端末

によるスケジュール情報の入力／更新の手順の一例を示すフローチャートである。

【図5】 図5は、本実施の形態において、ユーザ端末に表示されたスケジュール表の一例である。

【図6】 図6は、本実施の形態において、スケジュール表に関して開かれるウィンドウの一例である。

【図7】 図7は、本実施の形態において何れかのオプションボタンがオンされていた場合の処理を示すフローチャートである。

10 【図8】 図8は、本実施の形態において何れかのオプションボタンがオンされていた場合の処理を示すフローチャートである。

【図9】 図9は、本実施の形態における広告配信に関する処理を示すフローチャートである。

【図10】 図10は、本実施の形態において、店舗に関する情報提供の手順を示すフローチャートである。

【図11】 図11は、本実施の形態にかかる店舗の検索フォームおよび店舗からの返信フォームの一例を示す図である。

20 【図12】 図12は、本実施の形態において、店舗に関する情報提供の手順を示すフローチャートである。

#### 【符号の説明】

10	情報配信システム
12	制御サーバ
14	インターネット
16	店舗側コンピュータ
20	ユーザコンピュータ
22	携帯端末
26	ユーザ登録部
30	ユーザDB
32	店舗登録部
36	店舗DB
38	ユーザスケジュール管理部
40	スケジュールDB
	スケジュール照合部

【図6】

図6

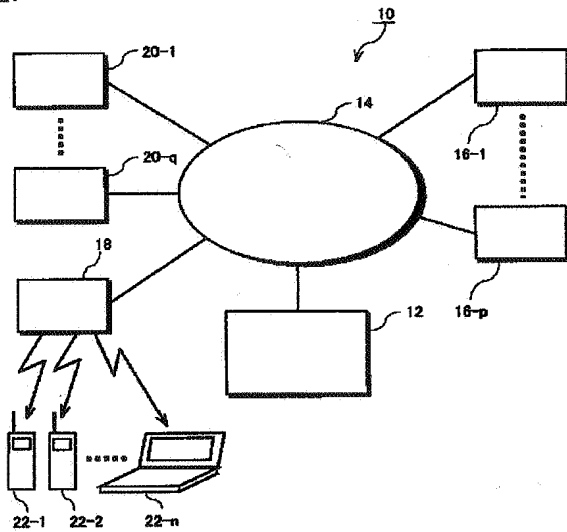
【図11】

図11



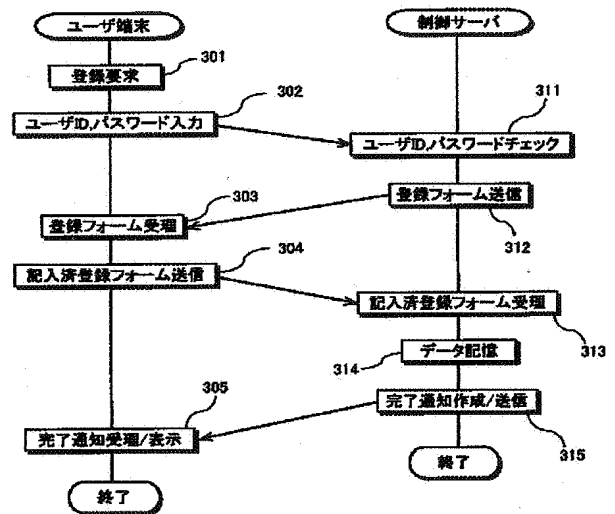
【図1】

図1



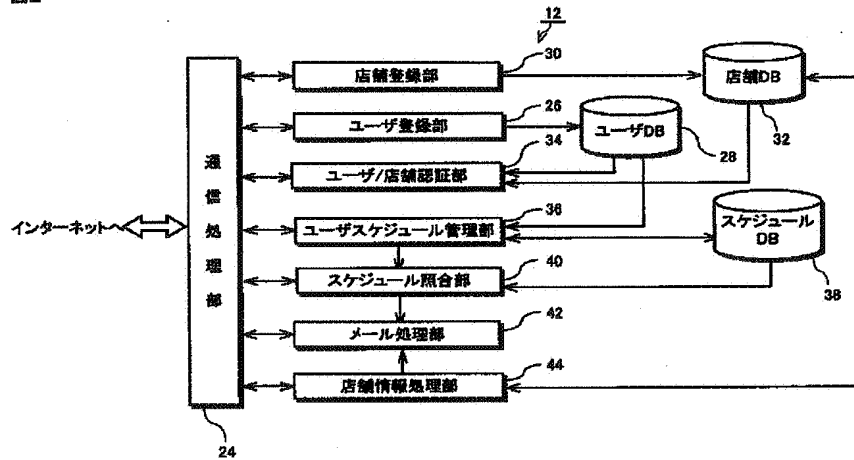
【図3】

図3



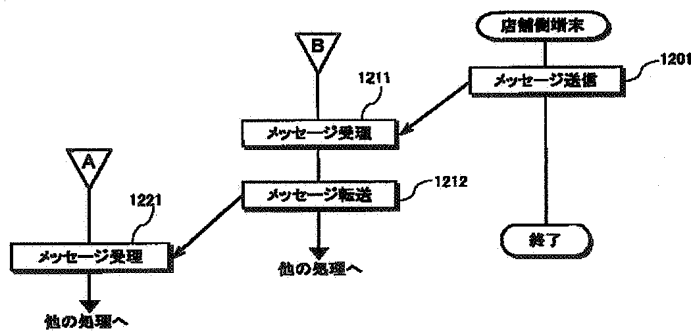
【図2】

図2



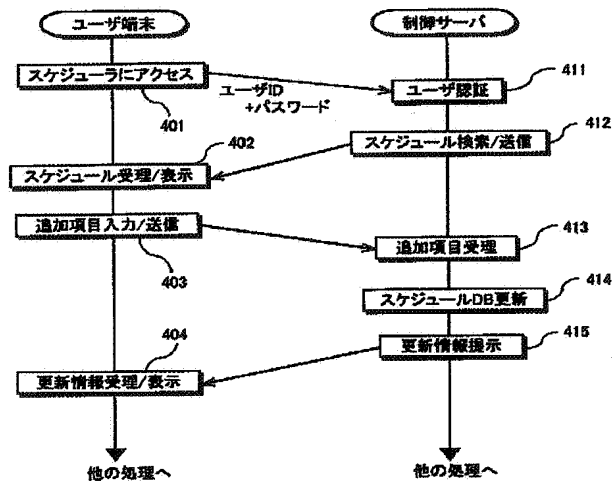
【図12】

図12



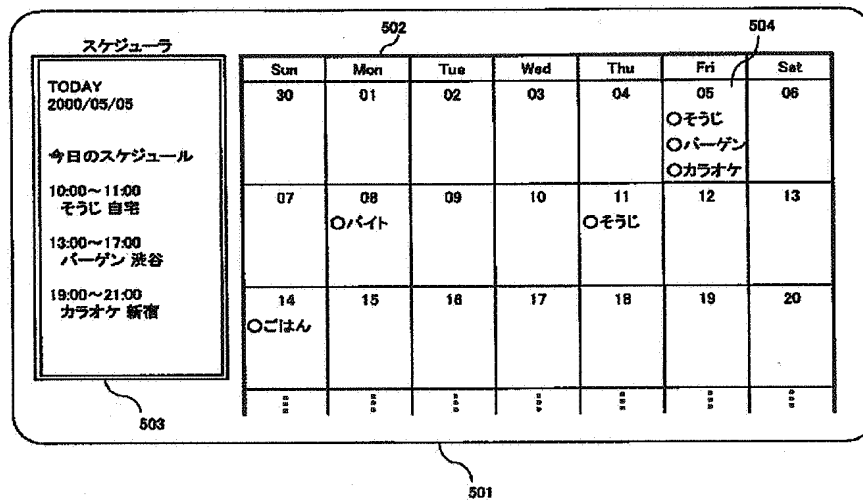
【図4】

図4



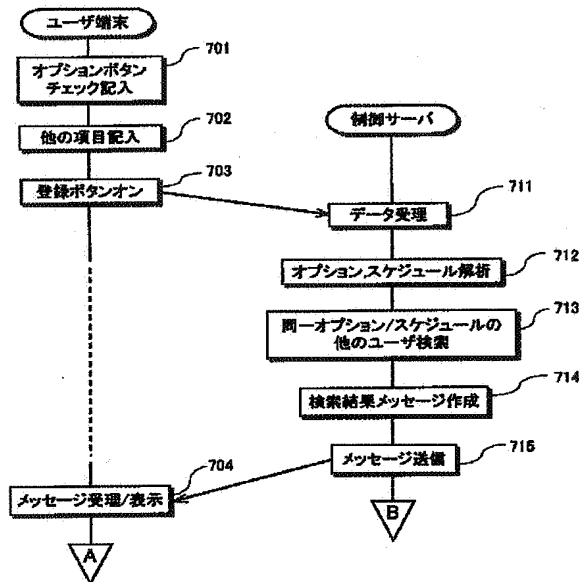
【図5】

図5



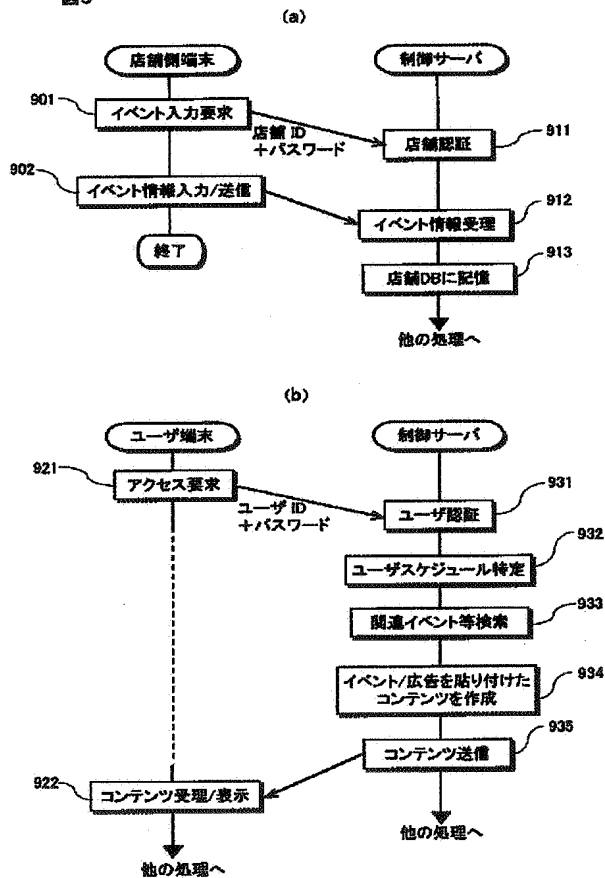
【図7】

図7



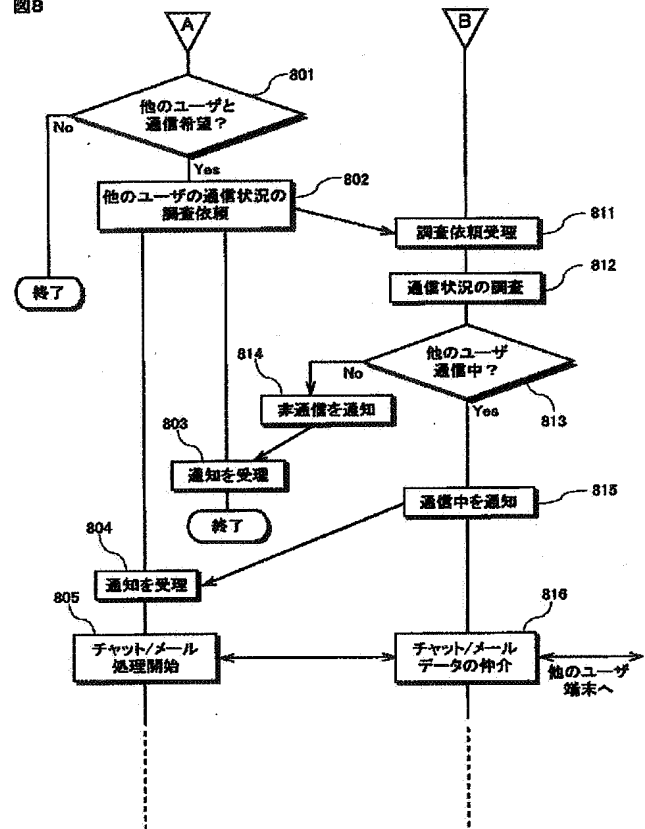
【図9】

図9



【図8】

図8



【図10】

図10

